

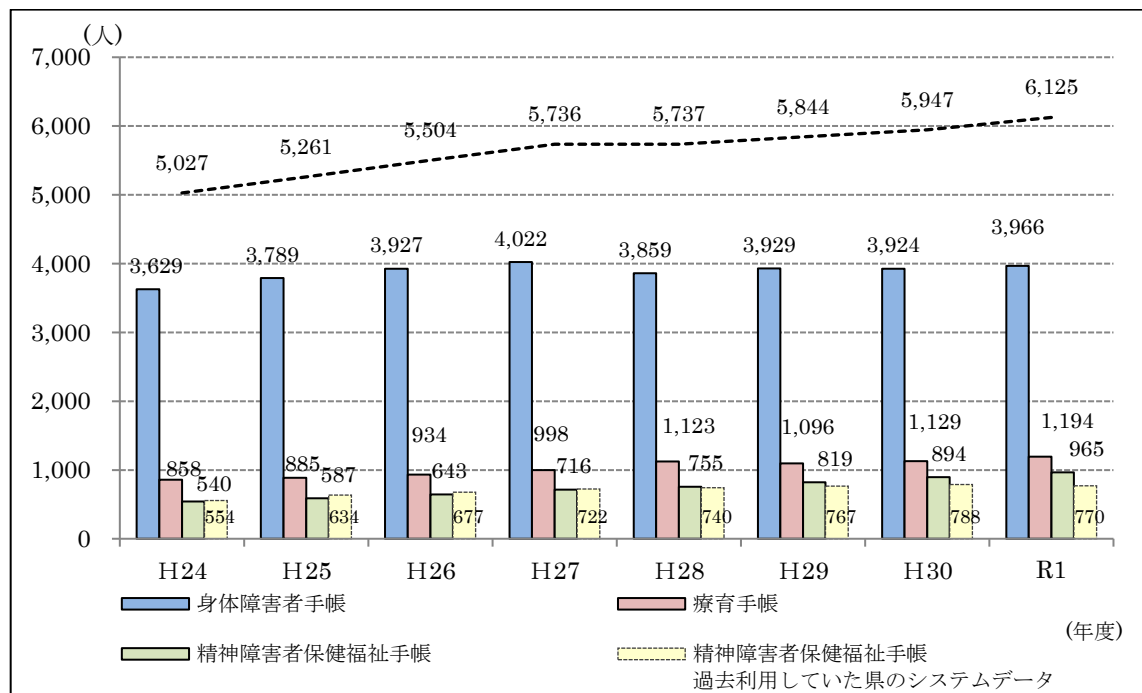
## 草津市の障害者福祉の動向

## 統計等による概況

## 1 障害者の数

年度	草津市の人口 A	障害者手帳所持者数 B(a+b+c)	対人口比 B/A	身体障害者手帳 a	比率 a/A	療育手帳 b	比率 b/A	精神障害者保健福祉手帳 c	比率 c/A
H24年度	125,879	5,027	3.99	3,629	2.88	858	0.68	540	0.43
H25年度	127,610	5,261	4.12	3,789	2.97	885	0.69	587	0.46
H26年度	128,833	5,504	4.27	3,927	3.05	934	0.72	643	0.50
H27年度	130,485	5,736	4.40	4,022	3.08	998	0.77	716	0.55
H28年度	131,846	5,737	4.35	3,859	2.93	1,123	0.85	755	0.57
H29年度	132,917	5,844	4.40	3,929	2.96	1,096	0.82	819	0.62
H30年度	134,224	5,947	4.43	3,924	2.92	1,129	0.84	894	0.67
R1年度	135,166	6,125	4.53	3,966	2.94	1,194	0.88	965	0.71

資料：福祉行政報告例（※精神障害者保健福祉手帳除く）（各年度末現在）



草津市の手帳所持者の総数は、6,125人であり、人口の4.53%に相当します。約22人に1人が障害者であり、身体障害者3,966人、知的障害者1,194人、精神障害者965人となります。精神障害者数は、根拠として使用していた滋賀県のシステムデータに誤りがあったため、今後は市のシステムやデータを利用することとします。正式な精神障害者数は緑色のグラフで、過去利用していた精神障害者数は黄色のグラフとなり、令和元年度は全ての障害者数において増加しています。

## 2 身体障害者の現状

### ① 障害等級別の身体障害者手帳所持者数の推移

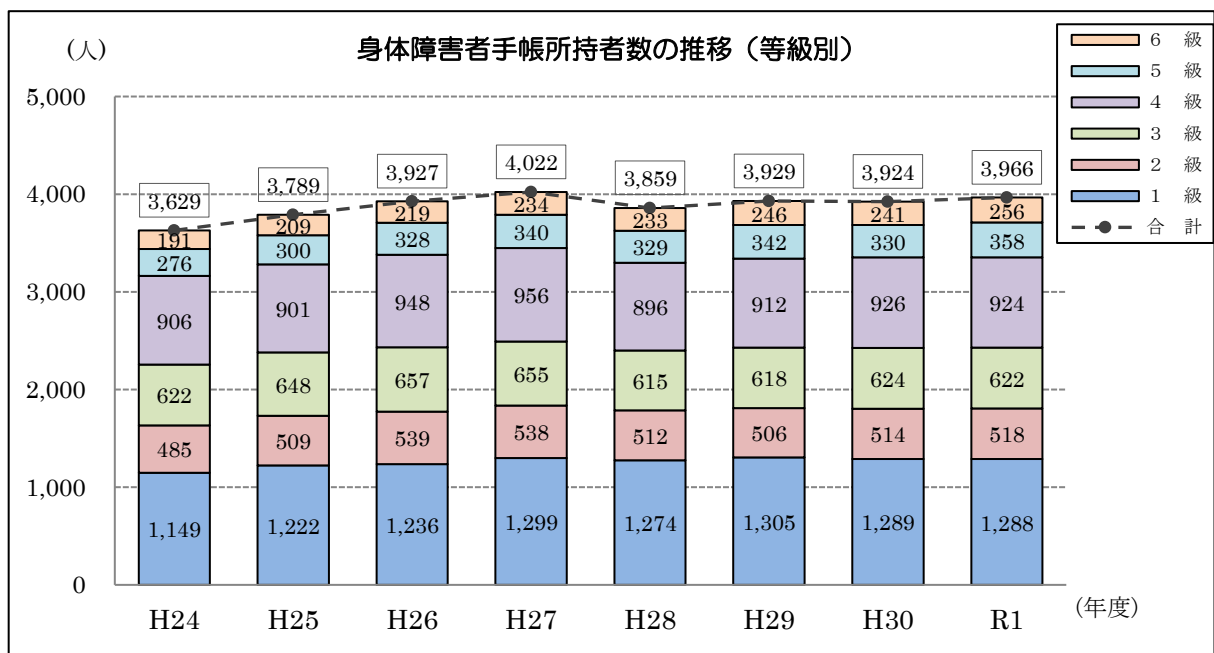
(単位：人)

人数	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
1 級	1,149	1,222	1,236	1,299	1,274	1,305	1,289	1,288
2 級	485	509	539	538	512	506	514	518
3 級	622	648	657	655	615	618	624	622
4 級	906	901	948	956	896	912	926	924
5 級	276	300	328	340	329	342	330	358
6 級	191	209	219	234	233	246	241	256
合計	3,629	3,789	3,927	4,022	3,859	3,929	3,924	3,966
前年度増加率	1.05	1.04	1.04	1.02	0.96	1.02	1.00	1.01

(単位：%)

割合	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
1 級	31.7	32.3	31.5	32.3	33.0	33.2	32.9	32.4
2 級	13.4	13.4	13.7	13.4	13.3	12.9	13.1	13.1
3 級	17.1	17.1	16.7	16.3	15.9	15.7	15.9	15.7
4 級	25.0	23.8	24.1	23.8	23.2	23.2	23.5	23.3
5 級	7.6	7.9	8.4	8.5	8.5	8.7	8.4	9.0
6 級	5.3	5.5	5.6	5.8	6.0	6.3	6.1	6.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1・2級の割合	45.0	45.7	45.2	45.7	46.3	46.1	45.9	45.5

(各年度末現在)



身体障害者は増加傾向ですが、平成28年度に減少しているのは台帳を整理したためです。令和元年度では、身体障害者数全体の約46%（1,806人）が手帳1級・2級の重度障害者です。令和元年度は5、6級の軽度の方の手帳取割合が高くなっています。

②障害部位別の身体障害者手帳所持者数の推移

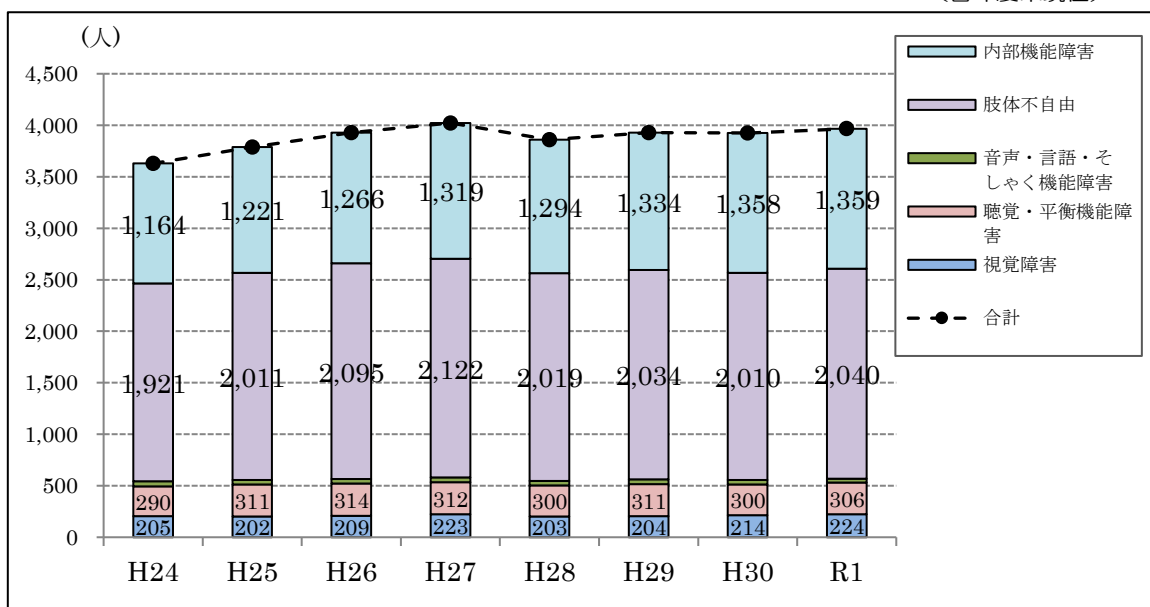
(単位：人)

人数	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
視覚障害	205	202	209	223	203	204	214	223
聴覚・平衡機能障害	290	311	314	312	300	311	300	306
音声・言語・そしゃく機能障害	49	44	43	46	43	46	42	38
肢体不自由	1,921	2,011	2,095	2,122	2,019	2,034	2,010	2,040
心臓機能障害	663	690	711	736	718	744	747	761
腎臓障害	263	287	297	311	328	332	332	326
呼吸器障害	56	65	65	71	65	64	68	64
膀胱・直腸・免疫不全	173	168	180	187	170	180	196	193
肝臓障害※1)	9	11	13	14	13	14	15	15
内部機能障害 小計	1,164	1,221	1,266	1,319	1,294	1,334	1,358	1,359
合計	3,629	3,789	3,927	4,022	3,859	3,929	3,924	3,966

(単位：%)

割合	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
視覚障害	5.6	5.3	5.3	5.5	5.3	5.2	5.5	5.6
聴覚・平衡機能障害	8.0	8.2	8.0	7.8	7.8	7.9	7.6	7.7
音声・言語・そしゃく機能障害	1.4	1.2	1.1	1.1	1.1	1.2	1.1	1.0
肢体不自由	52.9	53.1	53.3	52.8	52.3	51.8	51.2	51.4
心臓機能障害	18.3	18.2	18.1	18.3	18.6	18.9	19.0	19.2
腎臓障害	7.2	7.6	7.6	7.7	8.5	8.4	8.5	8.2
呼吸器障害	1.5	1.7	1.7	1.8	1.7	1.6	1.7	1.6
膀胱・直腸・免疫不全	4.8	4.4	4.6	4.6	4.4	4.6	5.0	4.9
肝臓障害※1)	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4
内部機能障害 小計	32.1	32.2	32.2	32.8	33.5	34.0	34.6	34.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(各年度末現在)



令和元年度では、車いすや歩行器使用者等の肢体不自由が2,040人(51.4%)、内部機能障害のうちペースメーカーなどの心臓機能障害が761人(19.2%)、人工透析などの腎臓機能障害326人(8.2%)と続きます。近年の傾向としては、肢体不自由、心臓機能障害の占める割合が増加しています。

### 3 知的障害者の現状

◆総合判定別の療育手帳所持者数の推移

(単位：人)

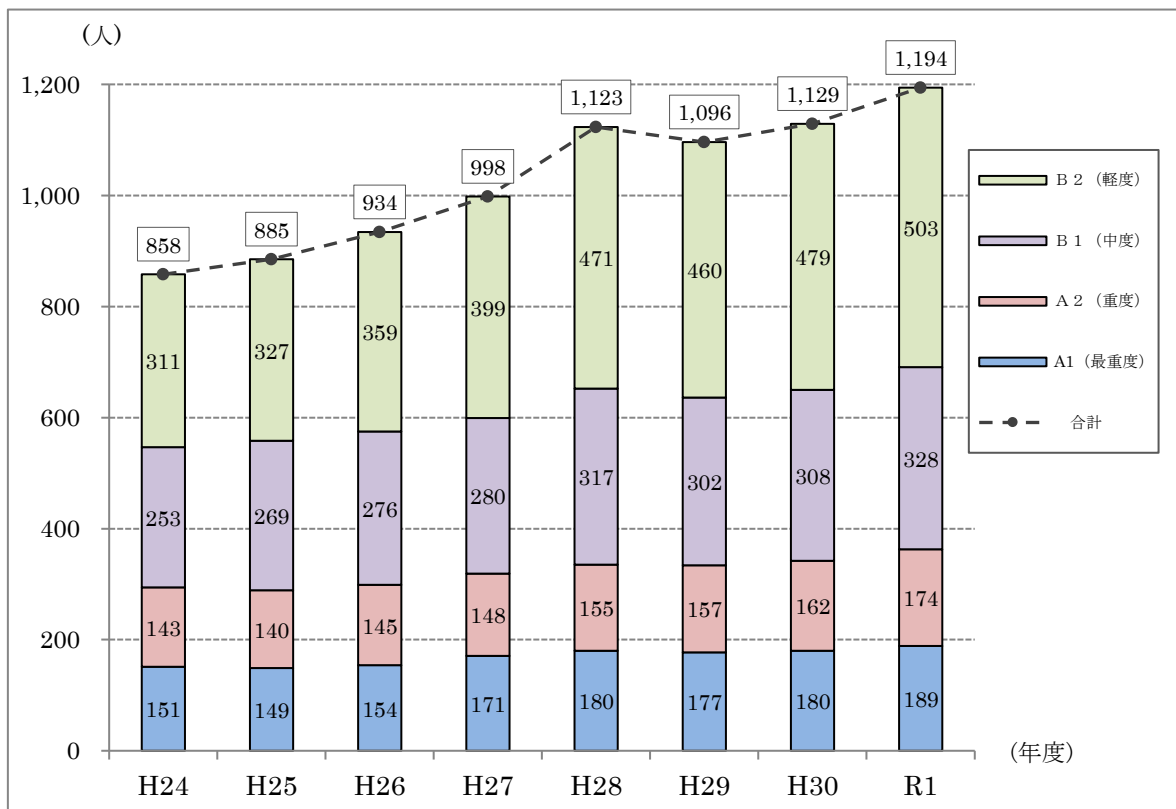
人数	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
A1 (最重度)	151	149	154	171	180	177	180	189
A2 (重度)	143	140	145	148	155	157	162	174
B1 (中度)	253	269	276	280	317	302	308	328
B2 (軽度)	311	327	359	399	471	460	479	503
合計	858	885	934	998	1,123	1,096	1,129	1,194
前年度増加率	1.22	1.03	1.06	1.07	1.13	0.98	1.03	1.06

(単位：%)

割合	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
A1 (最重度)	17.6	16.8	16.5	17.1	16.0	16.1	15.9	15.8
A2 (重度)	16.7	15.8	15.5	14.8	13.8	14.3	14.3	14.6
B1 (中度)	29.5	30.4	29.6	28.1	28.2	27.6	27.3	27.5
B2 (軽度)	36.2	36.9	38.4	40.0	41.9	42.0	42.4	42.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(各年度末現在)

資料：福祉行政報告例



知的障害者は平成29年度では若干減少していますが、平成30年度以降は増加しています。令和元年度では全体の約30% (363人) が手帳A1・A2の重度障害者となっています。特に手帳B2 (軽度) の取得者が多く、周知啓発や関係機関等において支援につなげる取り組みが進んでいるため、増加につながっているものと思われます。

## 4 精神障害者の現状

### ◆等級別の精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移

(単位：人)

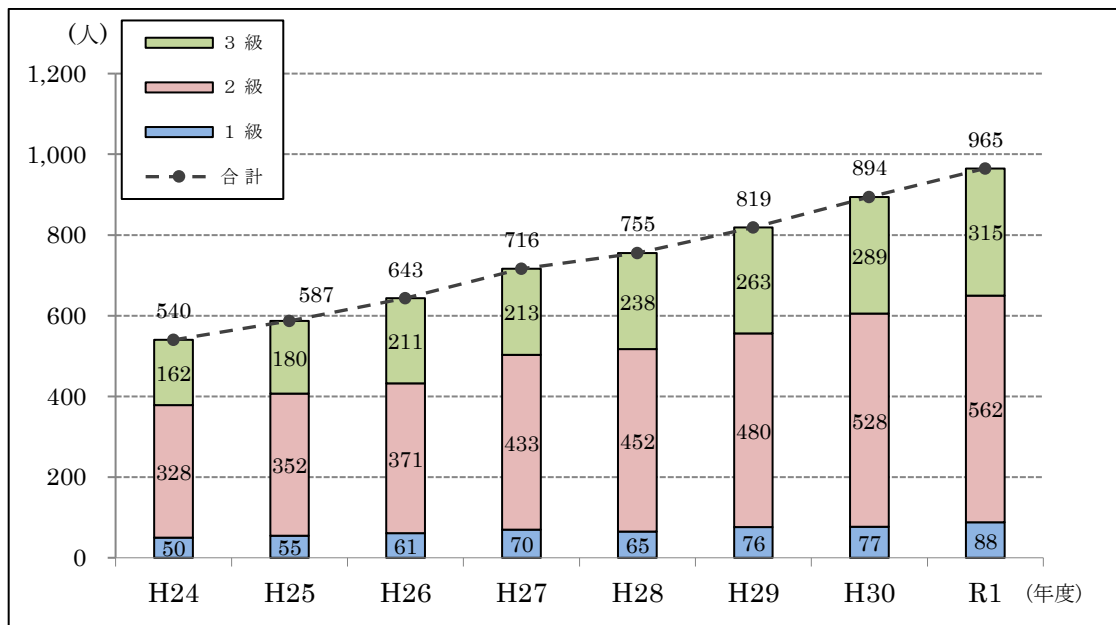
人数	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
1 級	50	55	61	70	65	76	77	88
2 級	328	352	371	433	452	480	528	562
3 級	162	180	211	213	238	263	289	315
合計	540	587	643	716	755	819	894	965
前年度増加率	1.13	1.09	1.10	1.11	1.05	1.08	1.09	1.08

(単位：%)

割合	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
1 級	9.3	9.3	9.5	9.8	8.6	9.3	8.6	9.1
2 級	60.7	60.0	57.7	60.5	59.9	58.6	59.1	58.2
3 級	30.0	30.7	32.8	29.7	31.5	32.1	32.3	32.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(各年度末現在)

資料：障害福祉課調べ



精神障害者は令和元年度についても増加しました。等級別の増減としては、手帳2級の方が多く増加しましたが、割合的には手帳1級の方の占める割合が増加しました。また、全体の約67%（650人）が手帳1級・2級の重度障害者となっています。

## 5 年齢階層別手帳所持者数

### ①身体障害者手帳所持者数（年齢階層別）

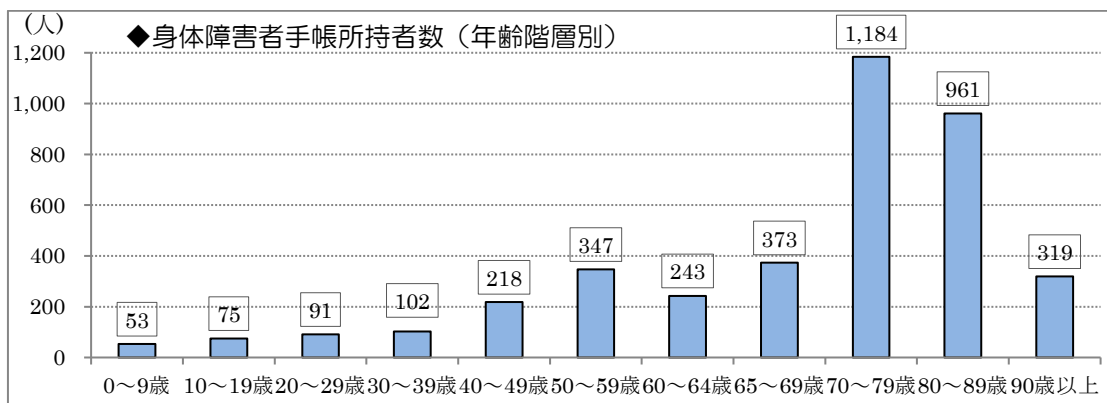
（単位：人）

区分	等級別						計	※障害部位別				
	1級	2級	3級	4級	5級	6級		視覚	聴/平	音言そ	肢体	内部
0～9歳	32	4	11	4	0	2	53	1	6	1	36	9
10～19歳	40	11	8	13	1	2	75	2	10	0	49	14
20～29歳	36	18	12	17	4	4	91	6	8	3	53	21
30～39歳	45	23	10	14	7	3	102	4	17	5	41	35
40～49歳	73	36	30	33	32	14	218	12	17	3	121	65
50～59歳	100	77	44	63	35	28	347	19	35	2	200	91
60～64歳	84	28	29	54	35	13	243	15	12	3	133	80
65～69歳	111	52	61	96	35	18	373	24	15	2	209	123
70～79歳	389	136	175	295	113	76	1,184	66	57	11	589	461
80～89歳	283	99	178	250	79	72	961	54	88	8	468	343
90歳以上	95	33	64	85	18	24	319	20	41	0	141	117
合計	1,288	517	622	924	359	256	3,966	223	306	38	2,040	1,359
うち65歳未満	410	197	144	198	114	66	1,129	59	105	17	633	315
うち65歳以上	878	320	478	726	245	190	2,837	164	201	21	1,407	1,044
65歳未満の割合	31.8%	38.1%	23.2%	21.4%	31.8%	25.8%	28.5%	26.5%	34.3%	44.7%	31.0%	23.2%
65歳以上の割合	68.2%	61.9%	76.8%	78.6%	68.2%	74.2%	71.5%	73.5%	65.7%	55.3%	69.0%	76.8%

資料：福祉行政報告例・障害福祉課調べ

※ 障害部位について、「視覚」は視覚障害、「聴/平」は聴覚・平衡機能障害、「音言そ」は音声・言語・そしゃく機能障害、「肢体」は肢体不自由、「内部」は内部機能障害をそれぞれ表します。

また、集計にあたり各種障害部位を併せ持つ（重複している）方については、代表的な障害部位で計上しています。



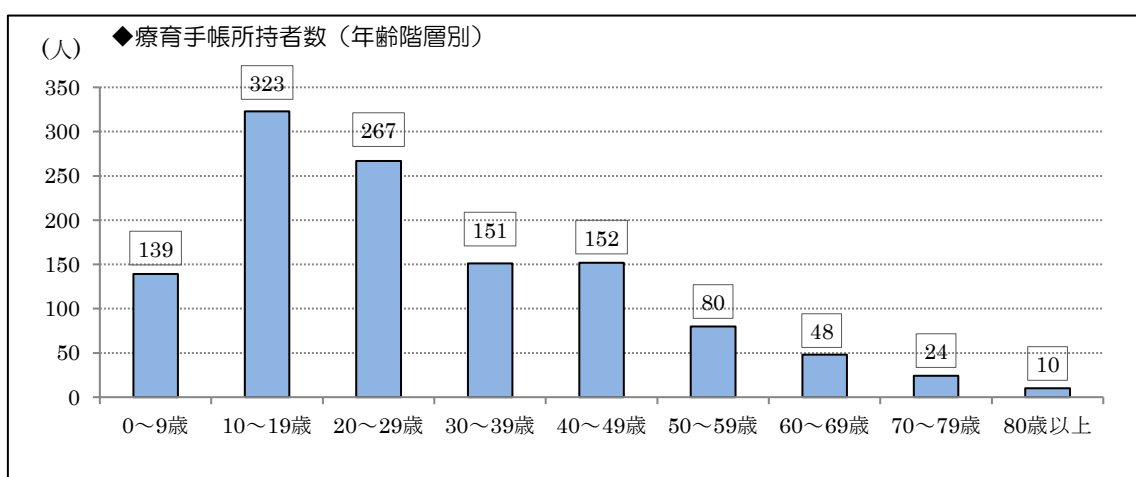
65歳以上が全体の71.5%（2,837人）を占めており、障害者の高齢化や加齢に伴う手帳取得が進んでいます。障害部位別の年齢階層別をみると、特に70歳以上の肢体不自由ならびに内部障害がとりわけ高い数値となっています。

②療育手帳所持者数（年齢階層別）

（単位：人）

区分	A1	A2	B1	B2	計
0～9歳	20	22	26	71	139
10～19歳	44	45	72	162	323
20～29歳	42	35	87	103	267
30～39歳	30	26	44	51	151
40～49歳	28	24	46	54	152
50～59歳	10	8	29	33	80
60～69歳	9	8	14	17	48
70～79歳	4	4	7	9	24
80歳以上	2	2	3	3	10
合計	189	174	328	503	1,194

資料：福祉行政報告例・障害福祉課調べ

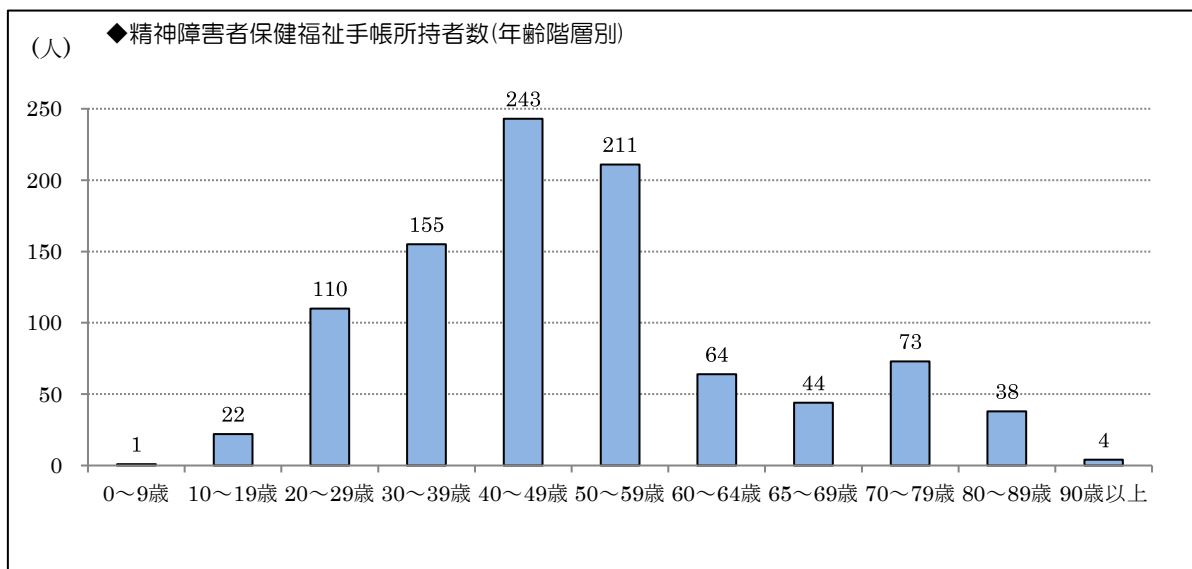


20歳未満が全体の約39%（462人）を占めています。20歳未満では、平成28年度447人、平成29年度461人、平成30年度459人、令和元年度462人と推移しており、早期療育等の取り組みのなかで若年層の手帳取得が増えているものと思われます。10～19歳で特に多い理由は、就職活動などにおいて手帳の利用ニーズが高まることが一因だと思われます。

③精神障害者保健福祉手帳所持者数（年齢階層別）

（単位：人）

区分	1級	2級	3級	計
0～9歳	0	1	0	1
10～19歳	1	13	8	22
20～29歳	3	58	49	110
30～39歳	5	83	67	155
40～49歳	12	153	78	243
50～59歳	13	128	70	211
60～64歳	5	36	23	64
65～69歳	9	27	8	44
70～79歳	18	43	12	73
80～89歳	21	17	0	38
90歳以上	1	3	0	4
合計	88	562	315	965



20歳以上から59歳までの所持者数が全体の約75%（719人）を占めており、特に30歳代から50歳代の所持者が多くなっています。



## 6 障害支援区分の認定

### ◆障害支援区分認定者数の推移

(単位：人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
区分1	72	71	53	32	31	27	21
身体障害者	6	4	6	2	3	3	3
知的障害者	26	29	23	17	17	17	10
精神障害者	40	38	24	13	11	7	8
区分2	95	105	134	137	147	141	159
身体障害者	11	10	15	15	16	17	19
知的障害者	60	61	68	61	72	68	62
精神障害者	24	34	51	61	59	56	78
区分3	81	83	73	81	93	97	106
身体障害者	17	19	18	15	15	13	13
知的障害者	48	49	45	52	52	51	55
精神障害者	16	15	10	14	26	33	38
区分4	48	63	62	63	75	79	77
身体障害者	7	9	17	11	13	14	16
知的障害者	37	47	39	42	45	48	45
精神障害者	4	7	6	10	17	17	16
区分5	57	60	66	60	60	60	70
身体障害者	9	13	24	15	15	14	22
知的障害者	46	45	41	43	44	43	44
精神障害者	2	2	1	2	1	3	4
区分6	75	87	104	117	120	128	126
身体障害者	24	26	29	31	33	31	32
知的障害者	51	61	74	85	86	96	93
精神障害者	0	0	1	1	1	1	1
合計	428	469	492	490	526	532	559
身体障害者	74	81	109	89	95	92	105
知的障害者	268	292	290	300	316	323	309
精神障害者	86	96	93	101	115	117	145
割合(%)	100	100	100	100	100	100	100
身体障害者	17.29	17.27	22.15	22.16	18.06	17.29	18.78
知的障害者	62.62	62.26	58.94	61.22	61.23	60.71	60.72
精神障害者	19.95	20.47	18.90	20.61	21.86	21.99	25.94

(各年度末現在)

資料：障害福祉課調べ

※ 障害程度区分の認定は18才以上の障害のある人を対象としています。

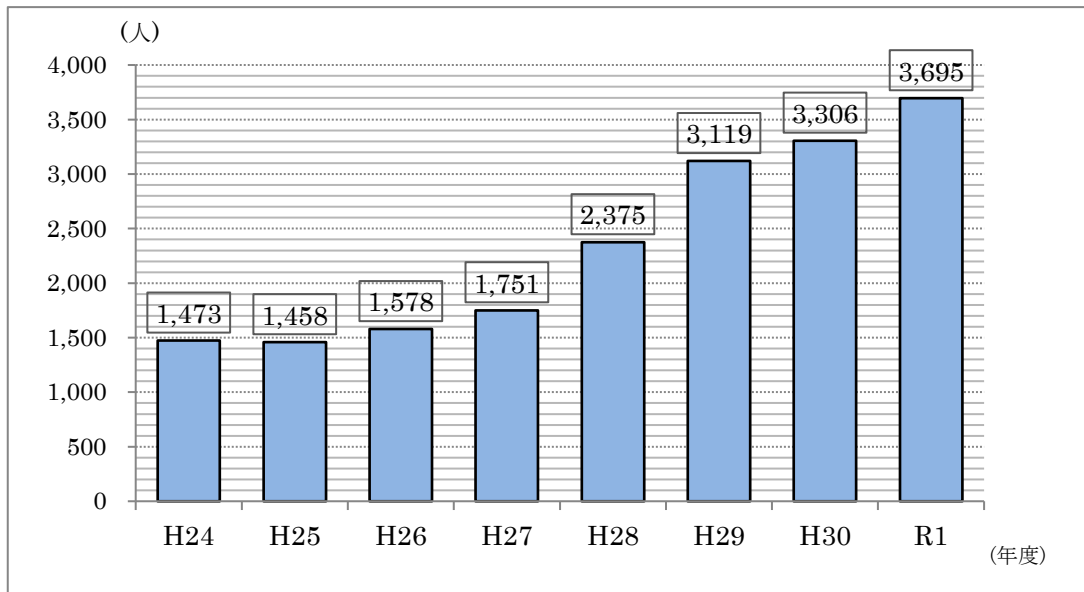
※ 平成26年4月から、障害程度区分は障害支援区分となりました。

障害支援区分認定者数全体としては、近年増加しており、その中でも区分5、6の重度の認定が増加しています。

## 7 医療・保健の概況

### ①自立支援医療

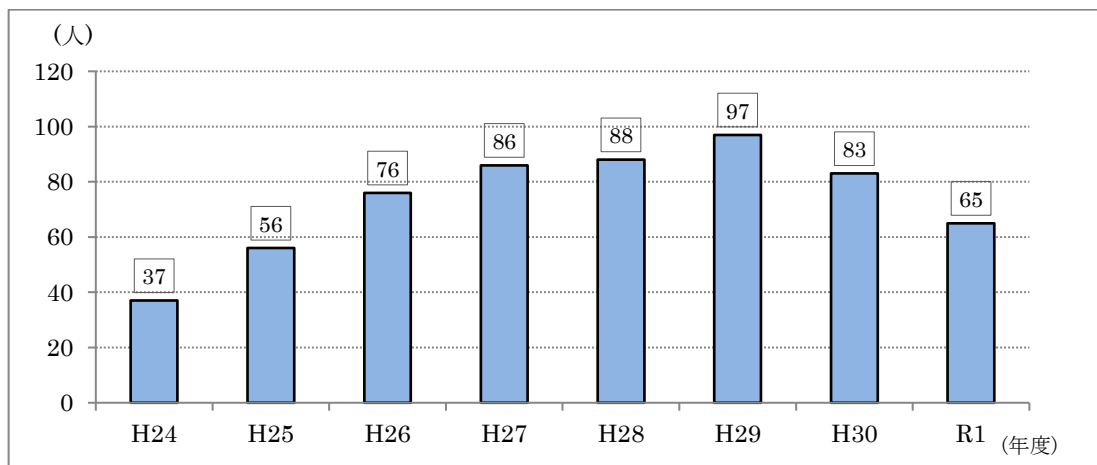
#### ◆更生医療



(各年度末現在)  
資料：福祉行政報告例

加齢等に伴う身体障害者数の増加により、利用者が増えています。人工透析、ペースメーカー埋め込み術、人工関節置換術などが該当しますが、特に人工透析は対象となる方が増えています。

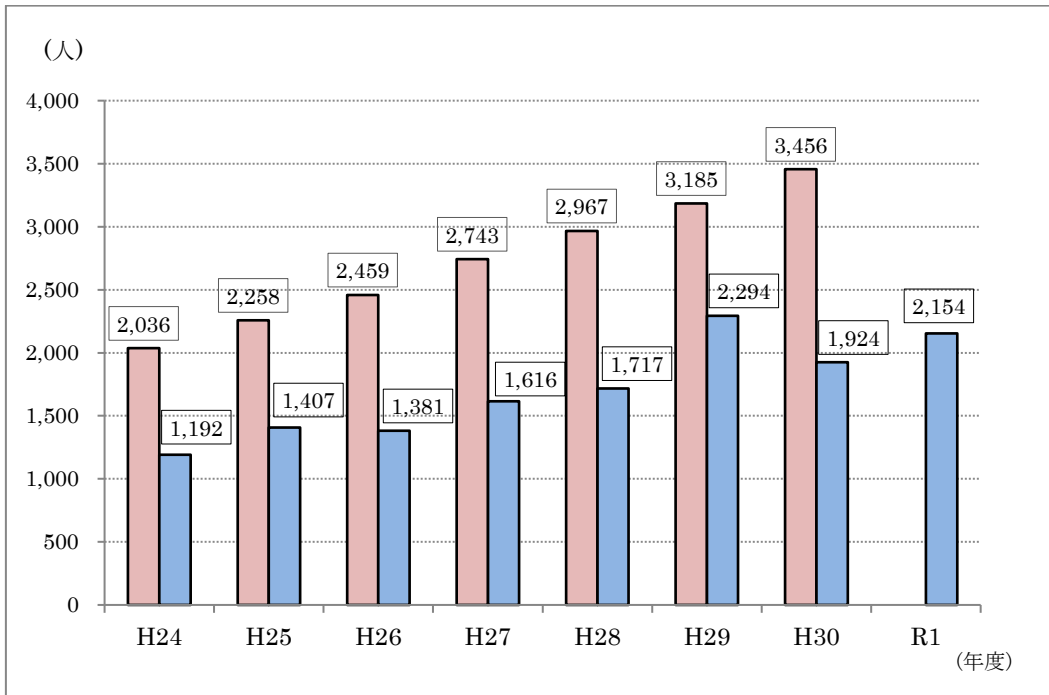
#### ◆育成医療



(各年度末現在)  
資料：福祉行政報告例

平成24年度から平成29年度まで制度の普及により利用者が増えていましたが平成30年度からは減少しています。治療を終了した方が増えたことや、新規申請が少なかったことが要因です。

◆精神通院医療



(各年度末現在)

資料：障害福祉課調べ

精神通院医療の利用者数ですが、根拠データとして使用していた滋賀県のシステムデータに誤りがあったため、令和元年度以降については、市のシステムデータを利用することとします。正式な利用者数は青色のグラフで、令和元年度については、前年度と比べ増加傾向にあります。

②精神保健対策

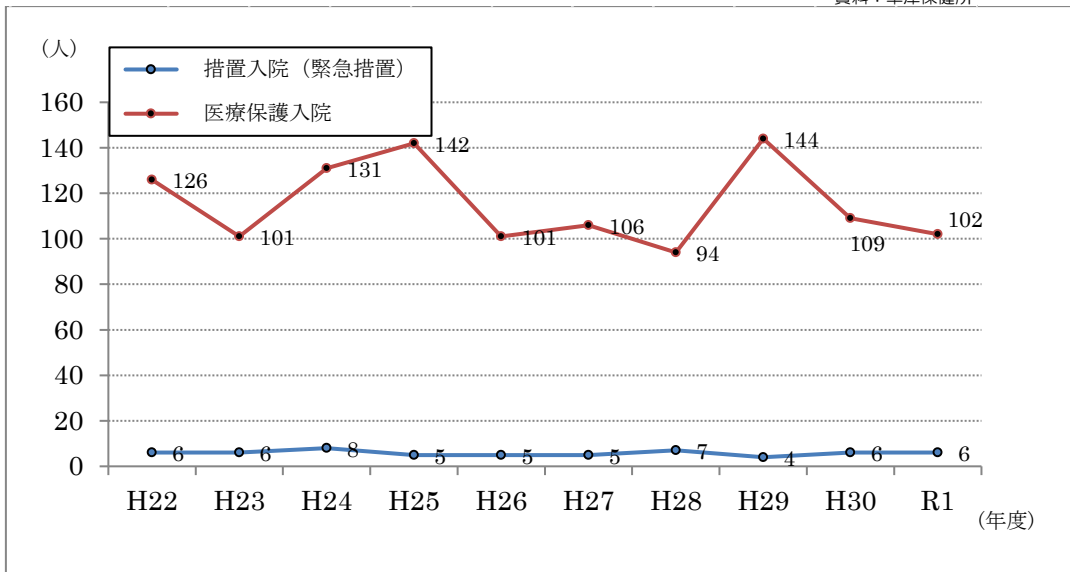
■入院患者数の推移

(単位：人)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
措置入院(緊急措置)	6	6	8	5	5	5	7	4	6	6
医療保護入院	126	101	131	142	101	106	94	144	109	102

(各年度末現在)

資料：草津保健所



措置入院は、ほぼ横ばいの推移ですが、医療保護入院は若干減少しています。

## 第2節 障害等のある幼児・児童・生徒の推移等

### 1 就学前児童の状況

①保育所、認定こども園（保育認定）における障害児保育

(単位：園 人 %)

項目		年度									
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
公立	園数	6	6	6	6	6	7	7	6	8	11
	園児 人	643	635	628	619	633	663	686	594	661	690
	加配対象園児 人	35	31	42	45	42	41	43	45	69	63
	対比 %	5.4	4.9	6.7	7.3	6.6	6.2	6.3	7.6	10.4	9.1
私立	園数	12	13	13	13	13	16	17	19	21	24
	園児 人	1,754	1,917	2,071	2,135	2,221	2,425	2,694	2,813	2,832	3,013
	加配対象園児 人	47	49	57	52	47	40	51	64	62	62
	対比 %	2.7	2.6	2.8	2.4	2.1	1.6	1.9	2.3	2.2	2.1
合計	園数	18	19	19	19	19	23	24	25	29	35
	園児 人	2,397	2,552	2,699	2,754	2,854	3,088	3,380	3,407	3,493	3,703
	加配対象園児 人	82	80	99	97	89	81	94	109	131	125
	対比 %	3.4	3.1	3.7	3.5	3.1	2.6	2.8	3.2	3.8	3.4

(各年5月1日現在)

資料：幼児課

※ 令和元年度から志津と山田の公立幼稚園が認定こども園化されたことに伴い、公立の加配対象園児が増加しています。ただし、認定こども園の園児数については保育認定対象を上記の障害児保育で、教育認定対象を下記の障害児教育で計上しています。

②幼稚園（公立のみ）、認定こども園（教育認定）における障害児教育

(単位：園 人 %)

項目		年度									
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
公立	園数	10	10	10	10	10	11	11	10	10	10
	園児 人	790	793	725	778	775	818	820	722	733	723
	加配対象園児 人	32	32	40	45	54	59	53	49	31	67
	対比 %	4.1	4.0	5.5	5.8	7.0	7.2	6.5	6.8	4.2	9.3
私立	園数						1	1	5	10	13
	園児 人						100	108	207	385	363
	加配対象園児 人						0	1	3	9	10
	対比 %						0.0	0.9	1.4	2.3	2.8
合計	園数	10	10	10	10	10	12	12	15	20	23
	園児 人	790	793	725	778	775	918	928	929	1,118	1,086
	加配対象園児 人	32	32	40	45	54	59	54	52	40	77
	対比 %	4.1	4.0	5.5	5.8	7.0	6.4	5.8	5.6	3.6	7.1

※ 令和元年度から志津と山田の公立幼稚園が認定こども園化されたことに伴い、認定こども園の保育認定へ移った園児が増加したため、公立幼稚園の加配対象児は減少しています。

保育所、保育認定の認定こども園の加配対象児については、令和2年度は125人であり、約30人に1人の割合となっています。公立幼稚園、教育認定の認定こども園の加配対象児については、令和2年度は77人であり、約14人に1人の割合となっています。

## 2 学校教育の状況

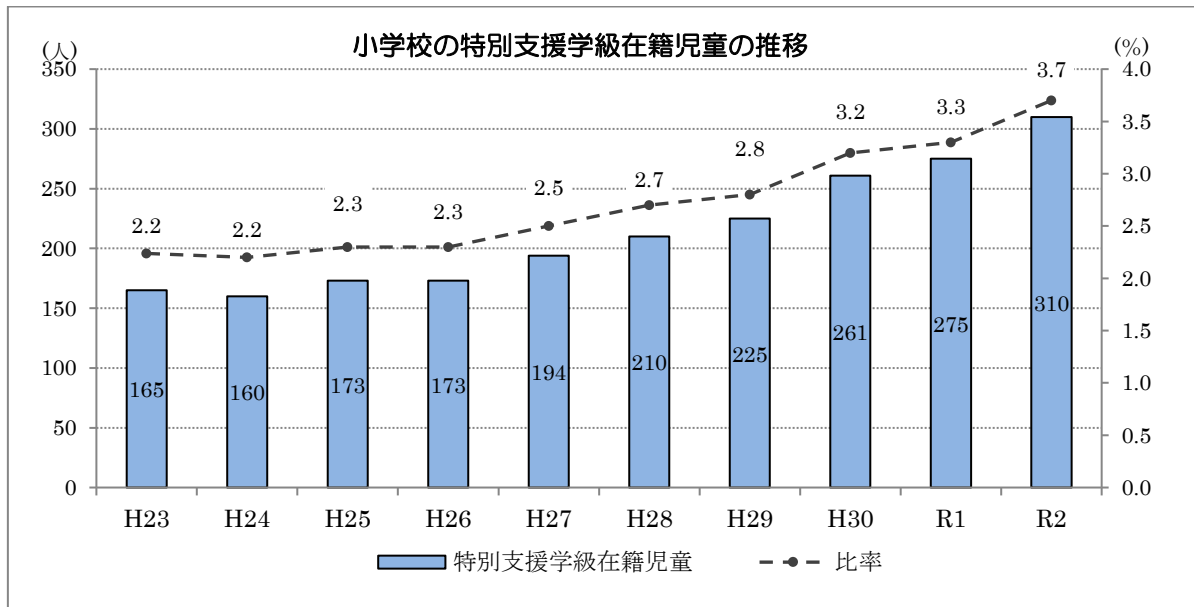
### ①公立小学校の特別支援教育

(単位：CL 人 %)

項目	年度		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
	CL	人										
実学級	CL		277	280	289	295	304	311	314	326	333	335
特別支援学級	CL		41	40	42	45	47	50	52	55	61	60
児童	人		7,378	7,365	7,495	7,567	7,715	7,818	7,964	8,179	8,282	8,367
普通学級在籍児童	人		7,213	7,205	7,322	7,394	7,521	7,608	7,739	7,918	8,007	8,057
特別支援学級在籍児童	人		165	160	173	173	194	210	225	261	275	310
対比	%		2.2	2.2	2.3	2.3	2.5	2.7	2.8	3.2	3.3	3.7

(各年5月1日現在)

資料：学校教育課



特別支援学級在籍児童については、年々増加傾向にあります。令和2年度は310人であり、約27人に1人の割合となっています。

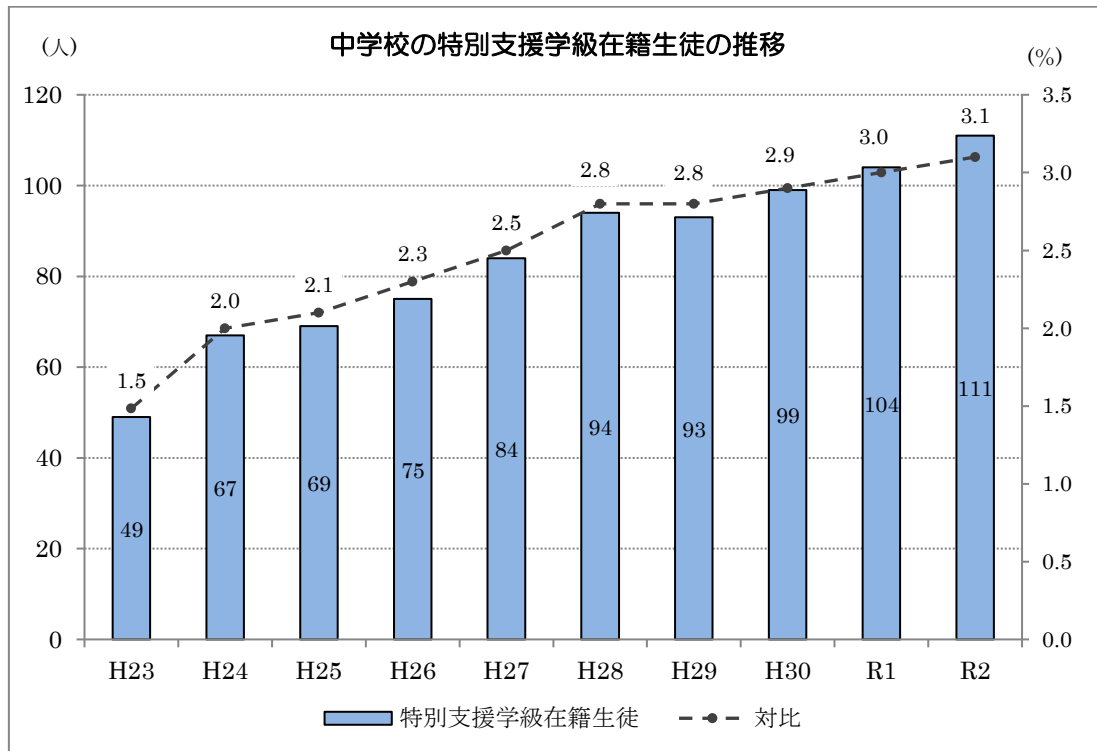
②公立中学校の特別支援教育

(単位：CL 人 %)

項目	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実学級	CL	106	111	120	122	118	123	122	120	125	130
特別支援学級	CL	14	20	20	22	18	21	19	17	20	22
生徒	人	3,301	3,278	3,298	3,266	3,317	3,341	3,380	3,363	3,468	3,526
普通学級在籍生徒	人	3,252	3,211	3,229	3,191	3,233	3,247	3,287	3,264	3,364	3,415
特別支援学級在籍生徒	人	49	67	69	75	84	94	93	99	104	111
対比	%	1.5	2.0	2.1	2.3	2.5	2.8	2.8	2.9	3.0	3.1

(各年5月1日現在)

資料：学校教育課



特別支援学級在籍生徒については、年々増加傾向にあります。令和2年度は111人であり、約32人に1人の割合となっています。

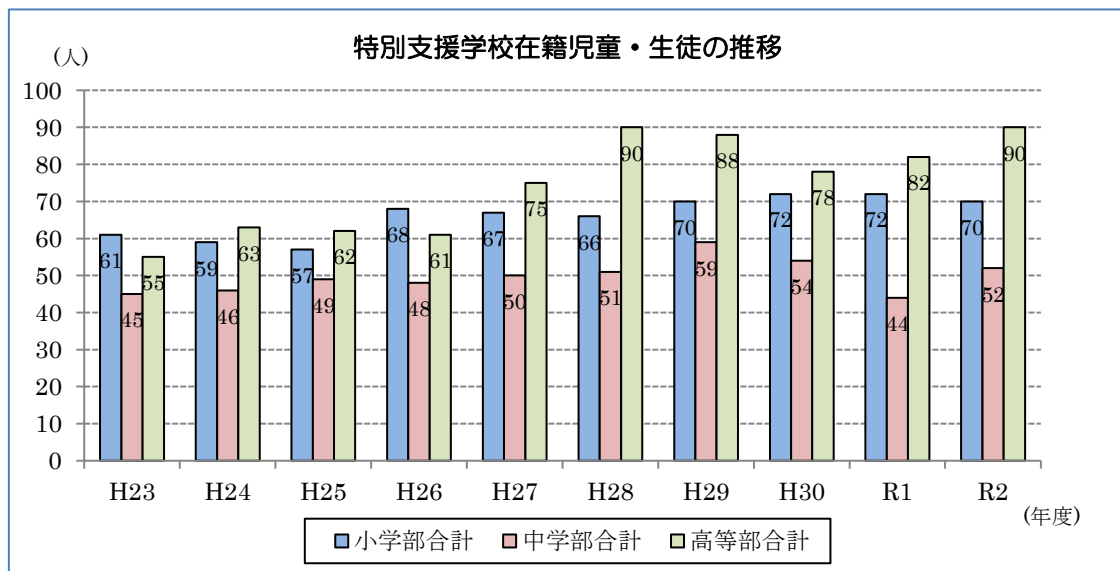
### 3 特別支援学校の児童・生徒

(単位 人)

区分	学校	年度									
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
小学部	滋賀県立盲学校	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0
	滋賀県立聾話学校	6	6	6	5	3	4	2	3	2	2
	滋賀県立草津養護学校	55	53	51	62	62	61	67	68	69	67
	滋賀県立三雲養護学校					1	0	0	0	0	0
	滋賀大学附属特別支援学校										1
	合計	61	59	57	68	67	66	70	72	72	70
中学部	滋賀県立盲学校	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1
	滋賀県立聾話学校	0	0	1	2	3	2	1	1	1	1
	滋賀県立草津養護学校	43	44	48	46	44	46	57	52	42	42
	滋賀県立三雲養護学校					3	3	1	1	1	3
	滋賀大学附属特別支援学校										5
	合計	45	46	49	48	50	51	59	54	44	52
高等部	滋賀県立盲学校	2	2	2	1	2	0	1	1	0	0
	滋賀県立聾話学校	2	1	0	0	0	1	2	2	1	1
	滋賀県立草津養護学校	43	53	55	55	57	66	60	54	56	68
	滋賀県立甲南高等養護学校	7	6	4	5	4	3	4	4	6	7
	滋賀県立三雲養護学校					10	14	12	7	5	11
	滋賀大学附属特別支援学校	1	1	1	0	2	6	9	10	14	3
	合計	55	63	62	61	75	90	88	78	82	90

(各年5月1日現在)

資料：障害福祉課調べ



特別支援学校在籍児童・生徒については、年々増加傾向にあります。草津養護学校高等部の在籍児童数が近年増加しています。